

トークイベント

参加無料・申込不要 会場/静岡市歴史博物館 1階市民活動スペース

- 1 仏像が見つめるしずおかの歴史**
10月26日(日)13:30~14:30
講師 森山 郁真さん (静岡市歴史文化課学芸員)
- 2 静岡県伝来の平安・鎌倉仏
~駿河・遠江の作例比較から~**
11月1日(土)13:30~14:30
講師 島口 直弥さん (浜松市美術館学芸員)
- 3 二十八部衆のすがた
~清水区霊山寺像を中心に~**
11月9日(日)13:30~14:30
講師 見学 知都世さん (静岡市美術館学芸員)
- 4 静岡県東部と中部の仏像
~伊豆と静岡市の仏像を中心に~**
11月16日(日)13:30~15:00
講師 田島 整さん (上原美術館上席学芸員・静岡県文化財保護審議会委員)
- 5 静岡県指定文化財 静岡市清水区
大内霊山寺仁王尊像の保存修理
経過報告と今後の継承**
11月29日(土)13:30~15:00
講師 牧野 隆夫さん (吉備文化財修復所代表)
- 6 発掘された古代寺院跡
~駿河国分寺と片山廃寺~**
12月7日(日)13:30~14:30
講師 松原 草太さん (静岡市立豊島博物館学芸員)

学芸員と行く! しずおかの古仏編~建穂寺~

建穂神社、建穂寺観音堂跡(山歩き)、建穂寺観音堂を巡ります。

日時 11月8日(土) ①10:00~11:30 ②13:00~14:30 ③14:00~15:30 ※各回同一内容

対象 平易な山歩きができる方各回15人(小学5年生以上、小学生は保護者同伴)

集合 建穂神社(突区建穂271)

解散 建穂寺観音堂(突区建穂2-12-6)

申込 10月18日(土)10:00~
静岡市歴史博物館(054-204-1005)で
電話受付(申込順)



学芸員ギャラリートーク (予約不要)

学芸員が企画展の見どころを紹介します。
開館時間延長のため、ゆくり展示をご覧ください。(19時閉館、展示室入場は閉館30分前まで)

1階	金剛力士立像(仁王像) (無料)	10月25日(土)、11月1日(土)、2日(日)、3日(月祝)	16:30~(約15分)
3階	展示内容 (要企画展観覧券)	10月31日(金)、11月22日(土) 10月25日(土)、11月1日(土)、2日(日)、3日(月祝)	16:30~(約15分) 17:30~(約15分)

文化財特別公開

文化庁が定める「文化財保護強調週間」にあわせて、10月から12月は普段は非公開の静岡市内の文化財が特別に公開されます。普段は見られない仏像をはじめとした文化財を訪ねてみてはいかがでしょうか。

特別公開場所:臨濟寺・八千戈神社(静岡浅間神社)ほか
(問い合わせ先:静岡市歴史文化課 文化財保護係)

※詳細は静岡市歴史文化課HPをご確認ください▶



静岡市歴史博物館へのおまち道中案内MAP

博物館への道

静岡市歴史博物館へのおまち道中案内MAP

10月25日(土)・26日(日)に企画展をご覧いただいた
各日先着100名様

博物館オリジナルノベルティプレゼント!

3階展示室入口にて配布します



10月25日(土)・26日(日)に企画展をご覧いただいた各日先着100名様

歴史博物館への交通アクセス

JRをご利用の場合
JR静岡駅下車、北口から徒歩15分、タクシーで約10分
●しずてつジャストラインバス
「県庁・静岡市役所葵区役所前」下車 徒歩6分

静岡鉄道をご利用の場合
●「新静岡駅」から徒歩8分

富士山静岡空港をご利用の場合
●空港からしずてつジャストラインバス
富士山静岡空港静岡線「新静岡」下車 徒歩8分

お車でお越しの場合
●東名静岡ICから約20分
※隣接及び近隣の有料駐車場をご利用ください。

観覧料	個人	団体 (20人以上)
基本展示	一般 1,200円	960円
	高校生・大学生・静岡市居住70歳以上 840円	660円
	小中学生 300円	240円
企画展のみ	一般 600円	480円
	高校生・大学生・静岡市居住70歳以上 420円	330円
	小中学生 150円	120円
	静岡市内居住・通学の小中学生	無料

※障害者手帳をお持ちの方とその介助者1人無料。(要表示)
※一般の方以外は学生証等をお持ちください。

開館時間
9時~18時(展示室への入場は閉館30分前まで)

休館日
月曜日(国民の祝日・休日の場合は開館、翌平日休館)
※10月27日(月)、11月10日(月)、11月25日(火)は臨時開館

ミュージアムショップ・カフェ (1階 無料エリア)
ミュージアムショップでは、企画展図録やオリジナルグッズ、地元企業とコラボした商品等を販売しています。併設のカフェでは、コーヒーや抹茶シェイクのほか、軽食もお楽しみいただけます。

静岡市歴史博物館
Shizuoka City Museum of History

静岡市葵区追手町4番16号 電話:054-204-1005
ホームページ:https://scmh.jp FAX:054-204-7373
指定管理者 公益財団法人静岡市文化振興財団



しずおかの古仏たち

企画展

主催 静岡市歴史博物館(指定管理者 公益財団法人静岡市文化振興財団) 協力 静岡市

2025
10/25 SAT
12/7 SUN

※10月27日(月)、11月10日(月)、25日(火)は臨時開館

受けつがれてきた文化財を守る
古仏に宿る歴史と信仰の記憶



木造文殊菩薩坐像(県指定文化財 鉄舟禅寺)

記念イベント

ハマる、仏像の世界

静岡市には、地域の人びとに大切に守られ、現代まで引き継がれてきた仏像が多く残っています。彫刻や造形という視点から仏像の魅力についてご紹介します。
ようこそ、仏像の世界へ!!

講演
語りつくせぬしずおかの古仏たち
講師 浅湊 毅さん (追手門学院大学教授 静岡市文化財保護審議会委員)

座談会
企画展「しずおかの古仏たち」はここが魅力!
登壇者 浅湊 毅さん (追手門学院大学教授 静岡市文化財保護審議会委員)
森山 郁真さん (静岡市歴史文化課学芸員)
見学 知都世さん (静岡市美術館学芸員)

日時 11月15日(土)13:30~16:00(開場12:30)

会場 葵生涯学習センター(アイセル21)1階ホール
(静岡市葵区東草深町)

定員 どなたでも200人(無料・全席自由)

申込 10月4日(土)10:00~
静岡市歴史博物館ホームページ申込フォームで先行受付
10月10日(金)10:00~
静岡市歴史博物館(054-204-1005)で電話受付(申込順)

共催 静岡市葵生涯学習センター 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団



木造不動明王立像(県指定文化財 建穂自治会)



木造二十八部衆伝婆羅刹仙人立像(県指定文化財 霊山寺)

仏像彫り実演

日時 11月1日(土)10:00~15:00(休憩:12:00~13:00)

会場 静岡市歴史博物館 1階講座室

協力 澤元陽子さん(澤元彫刻 仏像彫刻師)

体験展示

会期中、1階無料エリアにて、クスやヒノキなど仏像に使われる木材の違いを触って確かめられるコーナーや、文化財の修復に使われる職人の道具を紹介するコーナーも設置!



今回の企画展示では、平安時代から鎌倉時代の仏像を展示します。
この仏像を現代まで守り伝えた寺院の歴史とともに仏像の魅力やみどころを紹介します。

序章 文化財の仏像を 後世につなぐ

寺と本尊を守る仁王像は、
筋肉隆々、力強い体格をしています。

霊山寺は平野を見下ろす山の中腹にある寺です。室町時代の建造物である山門(霊山寺仁王門【重要文化財】)には、平安時代～鎌倉時代の作とされる高さ2m以上の金剛力士立像(仁王像、県指定文化財)が伝わります。令和5年度から修理が行われ、かつての姿となった金剛力士像(阿形、吽形)を寺外で初公開します。



木造金剛力士立像(県指定文化財 霊山寺)の修復作業風景(吉備文化財修復所)

第1章 久能寺とその仏像

有度山に創建された久能寺は、最盛期の平安時代末期～鎌倉時代初期には三百以上の僧坊を擁する大寺でした。海に面した久能寺は、観音をまつる寺で、舞楽などの芸能が栄えました。また、禅僧の聖一国師(円爾)も久能寺と関わりました。このように歴史豊かな久能寺とそこに伝わる仏像について、紹介します。



木像菩薩坐像(市指定文化財 鉄舟禅寺)

きりっとして
目力がある仏像です。

髪を結び、冠を付けているのが
特徴の仏像です。



木造文殊菩薩坐像像内納入品
「大聖文殊種子一万鉢卷子」(鉄舟禅寺)



木造宝冠阿彌陀如来坐像(県指定文化財 一乗寺)

第2章 霊山寺とその仏像

毘楼勒又立像は鎧をまとい剣を手にして、本尊である観音を守り、
餓鬼(鬼)を踏み、悪をこらしめる勇ましい姿です。

観音の霊場である霊山寺には、本尊である千手観音を守る二十八部衆(そのうち二十六体)の立像が伝わります。台座などにある修復の銘によれば、二十八部衆が麓の村(大内村)の人びとの信仰を集めて、鎌倉時代・室町時代・江戸時代に繰り返し修理されてきました。今回は二十八部衆のうち八体を展示します。

木造二十八部衆佐毘楼勒又立像(県指定文化財 霊山寺)



第3章 新光明寺の仏像

頬が張ったきりっとした顔立ちの仏像です。
優しい顔立ちの一乗寺の仏像と見比べてみてください。

新光明寺は、かつて静岡市中心市街に境内地があり、重要文化財の阿彌陀如来立像を伝えています。阿彌陀如来立像は、慶派と呼ばれる仏師の作風とされています。慶派の仏師は鎌倉幕府北条氏の藤元の伊豆で仏像をつくっており、慶派が静岡の仏像制作に携わったことが考えられます。令和元年度の修復後、寺外初公開です。

木造阿彌陀如来立像
(重要文化財 新光明寺)



第4章 建穂寺とその仏像

仏像の手には様々な形があります。
この仏像の手の形は、
人々に仏の教えを説く姿を示しています。

建穂寺は駿河国府と関わりがあった国分寺・国分尼寺ともつながりがありました。さらに禅僧の大応国師(南浦紹明)が学んだ寺でもあります。寺は明治の廃仏毀釈で廃寺となり、その後、焼失しましたが、地元の人々の手で運び出された仏像は焼失を免れました。

木造伝阿彌陀如来坐像
(市指定文化財 建穂自治会)



終章 地域で守る 文化財

静岡市には、仏像をはじめ様々な文化財が伝わっています。文化財は「地域の宝」として、人々の手で守られることで、後世へと受けつがれます。その例として、霊山寺と建穂地域における仏像の保存活動を紹介합니다。



修理のため、金剛力士立像を運び出す様子



建穂地域の人々が建穂寺観音堂の仏像を紹介する様子